

# 1学年だより

太宰府市立学業院中学校  
1学年通信 7月号  
令和5年7月7日  
文責：伊東 亜美

## ◇自然教室を終えて◇

6月13日(火)～15日(木)に英彦山青年の家にて、自然教室を行いました。スローガン「ひまわり～笑顔でつながる304人の輪～」を掲げ、班やクラスの仲間と協力して集団行動や火起こし体験、イーゼル作りなどの活動に取り組みました。活動の中では、子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。特に、キャンプファイヤーは大盛り上がりで、楽しそうにマイムマイムを踊る姿が印象に残っています。また、活動の終わりには、自ら進んで片付けを手伝う生徒が見られ、施設の方に感謝の言葉をいただき、気持ちのよい挨拶についてもほめていただきました。

3日間を通して、挨拶の声の大きさや、点呼の素早さなど行動の成長が見られました。友達よさを見つけながら、心の面でも成長していることと思います。自然教室は大成功に終わりました。実行委員だけでは、自然教室は完成しません。304人全員の協力があってこそその成功です。この自然教室で創り上げた学級・学年の団結力をのばしていきながら、これからも一緒に成長していきたいと思っています。

<p>実行委員長 下野 はづきさん</p>	<p>自然教室で、時間を大切にすることを学びました。普段の生活に生かされていて、自然教室の成功に向けて取り組んだ成果が出ていると感じています。これからの活動も1年生で頑張っていきます！</p>
<p>副実行委員長 平木 翔大さん</p>	<p>2泊3日の自然教室で、メリハリをつけたり、挨拶を大切にしたりすることを学んだので、普段の学校生活で生かして団結力の高いよりよい学年にできるように1年生全員で頑張りたいと思います。</p>



## ◇ことばの学習◇

6月23日(金)1時間目の道徳はことばの学習でした。人を傷つけるような言葉について、みんなに考えてもらうために行いました。自分の気持ちを伝えるときに使う「言葉」は、ときに「言刃」になることもあります。手を傷つけたら、どうなりますか？けがした部分は、目に見えるでしょう。でも、心が傷ついたら…？どれほど傷ついているか、誰が傷ついているか見えないのです。言葉は、人を励ましたり、うれしい気持ちにさせたりする力も持っています。もう一度、自分の言葉を見直してみてください。あたたかい学級・学年をみんなで創っていきましょう。



★授業を終えての感想を一部紹介します。

- 親しい小学校の友達と強い口調で話したり、冗談のつもりで話していたりしたことがあったけど、周りの人が嫌な気持ちになっていたかもしれない。
- 言っではいけない言葉を使った人がいたとき黙ってしまったけど、この授業を受けて勇気を出して注意できるようになりたいと思った。
- もし、よくない言葉を使ってしまっても、できるだけ早く気づき謝れるようになりたい。
- 友達とふざけている途中で「気持ち悪」とか言ってしまったことを、もう一言言わないようにしたいと思う。
- いつもノリで言っている言葉で相手を傷つけていないとは限らない。

## ◇生徒会選挙に向けて◇

9月に生徒会選挙が行われます。立候補受付は来週からです。1年生の中から生徒会役員として「書記」「副会長」がそれぞれ1名ずつ選挙で選出されます。また、選挙が終わってからそれぞれの専門委員会を引っ張る「副委員長」も1名ずつ選出されます。次は、学年だけでなく、学校全体のリーダーとして学業院中学校を支えることができる存在に成長できることを期待しています。役員になっていない人も、生徒会の一員として、リーダーを支えていきましょう！

## ◇保護者の皆様へ◇

日頃より、学校教育へご理解・ご協力いただきありがとうございます。7月21日(金)～8月24日(木)の期間、中学校生活初めての夏休みを迎えます。7月24日(月)より、三者面談という形で教育相談を行いますので、お子様の日ごろの様子や学校での頑張りをお伝えしたいと考えております。夏休みの期間は、生活リズムが崩れやすく、休み明けに思うように学校生活が送れなくなる場合があります。規則正しい生活を心がけるよう学校でもお声かけさせていただきますが、家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。

